

2020年度 一般社団法人日本臨床化学会 第1回理事会 (WEB会議) 議事録

日 時：2020年6月21日 (日) 14:30~16:00

議 長：前川真人 代表理事

出席者：前川真人 (代表理事)、大久保滋夫、三井田孝、三浦雅一、山田俊幸 (以上 常務理事)
植田 成、川崎健治、川野克己、康 東天、小谷和彦、齋藤邦明、坂本秀生、柴田綾子、
菅野光俊、仁井見英樹、濱田悦子、眞野成康、村上正巳 (以上 理事)
戸塚 実、矢富 裕 (以上 監事)

出席者：池田勝義 (理事)

理事出席者数 18名 (全理事 19名)、全出席者数 20名

議題

1. 開会の辞 (前川 代表理事)

- ・理事総数 19名中 18名の出席があり理事会は成立した。
- ・代表理事より開会の挨拶があった。

2. 議事録確認者の指名 (前川 代表理事)

- ・坂本秀生理事、三浦雅一理事が指名された。

3. 報告事項

1) 庶務報告

①学会会員現状報告 (山田 庶務担当理事)

- ・会員数は順調に増えている。企業会員増に協力をお願いしたい。

②事業報告・事業計画

- ・2019年9月の理事会以降に開催された会議、学会誌発行などの報告ならびに本理事会以降に開催予定の年次学術集会、会議、学会誌発行等について承認された。

2) 2019年度利益相反調査報告 (植田 法務担当理事)

- ・2019年度の社員、専門委員会委員の利益相反に関する調査報告がなされた。
- ・社員 163名、専門委員会委員 61名、合計 224名中、回答者は 180名 (80.4%) となっている。
- ・利益相反ありと回答があった方 23名について確認し、すべて問題なしと判断した。
- ・昨年同様の回答率のため、100%を目指す努力が必要ではないかという意見があり、回収率が上がるよう努力をする。
- ・これまで提出率の悪い非回答者リストを作成して催促する、年会時のすき間時間にスライド表示して注意喚起するなどの対策案が出された。

3) 2020年度学会賞・Young Investigator Award 報告 (康 学術担当理事)

- ・2020年度の学会賞ならびに YIA の受賞者が決定した旨報告がなされた。

<学会賞>

学術賞 (審査対象 1件)：菊地良介氏 (名古屋大学医学部附属病院)

奨励賞 (審査対象 4件)：田崎雅義氏 (熊本大学大学院)、藤垣英嗣氏 (藤田医科大学大学院)

技術賞 (審査対象 4件)：シスメックス株式会社、株式会社島津製作所、
ニットーボーメディカル株式会社、富士レビオ株式会社

論文賞 (審査対象 11件)：河野弥季 (国際医療福祉大学)

<Young Investigator Award (YIA)>

北海道支部：櫻井俊宏 (北海道大学大学院保健科学研究所)

東北支部：横田柚梨菜 (東北大学病院)

関東支部：鈴木亮平 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)

甲信越支部：平 千明（信州大学学術研究院）
東海・北陸支部：杉江奈々（富山大学附属病院）
近畿支部：岡田光貴（京都橘大学）
中国支部：該当者なし
四国支部：該当者なし
九州支部：該当者なし

4) 認定関連報告（濱田 教育担当理事）

①2020 年度認定臨床化学者申請状況報告

- ・2020 年度は新規申請者 6 名、更新申請者 26 名（更新 1 回目：9 名、更新 2 回目：2 名、更新 3 回目：2 名、更新 4 回目：13 名）の申請があった。
- ・更新申請書について一部修正する必要がある箇所が指摘されたため、委員会で検討する。

②2020 年度認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師・管理者制度報告

- ・2020 年度は認定制度停止のため、試験は中止とする。

5) 第 60 回年次学術集会報告（三井田 年次学術集会長）

- ・協賛金の集まりが悪いので、理事の先生方に協力をお願いしたい。趣意書を理事に送り協力を依頼する。
- ・会員懇親会はコロナ禍の影響で開催しない。
- ・会場費を減額するため、常置委員会・専門委員会は事前（年会前）に Web 会議などで開催してほしいという提案があり承認された。
- ・拡大理事会・社員総会などの日程は後程メールで報告する。

6) 選挙について（前川 代表理事）

①選挙に関する作業およびスケジュールについて

- ・作業ならびにスケジュールの予定は下記のとおりとする。
 - ・細則の選挙区分変更により評議員ならびに正会員に区分の再登録を依頼。
 - ・選挙告知、立候補案内（7 月 20 日）
 - ・立候補締め切り（8 月 3 日）
 - ・投票に関する告知（8 月 11 日）
 - ・理事・監事選挙実施（8 月 24 日）
 - ・投票締め切り（9 月 4 日）
 - ・選挙管理委員会にて開票
 - ・理事・監事承認（年次学術集会時理事会、社員総会）
 - ・代表理事選出（社員総会以降）
 - ・新役員体制開始（2021 年 4 月 1 日）

②選挙管理委員について

- ・選挙管理委員の選出については理事・監事が立候補制となったため、理事任期が継続となる現理事から分野ごとに下記 4 名が推薦され承認となった。

川崎健治氏、川野克己氏、三井田孝氏、三浦雅一氏 承認

③細則について

- ・選挙管理委員選出については、上記のとおり選出したが、次回選挙時には立候補の対象者となるため、選挙管理委員を 2 年ごとに選出する必要がある。そのため、下記のとおり改定する。

現：第 11 条 2 選挙管理委員は、第 2 条第 4 項の各領域から 1 名を選ぶ。委員の任期は 4 年とする。

新：第 11 条 2 選挙管理委員は、第 2 条第 4 項の各領域から 1 名を選ぶ。委員の任期は 2 年とする。

- ・代表理事選出については、法人法により理事会にて選定することになっているため、下記の条文は削除する。

第15条2 互選により代表理事に推薦された者は、社員総会の決議を経て選任される。

- ・代表理事の任期については、理事が2年ごとに交代していくため、最短で2年、最長で8年となる。この件については細則の改定はせず、申し送り事項とし、理事会で決定する。
- ・投票の際、立候補者が定員数以下だった場合、白票も有効とする。そのため、下記の条文の「」部分を削除する。

第13条2 投票は無記名とし、評議員1人当たり、領域毎に割り振られた人数分を、領域全てにわたり投票する。「割り振られた人数分の投票がないものは無効とする。」

④選挙システム

- ・立候補制になったため、立候補者本人がシステム上で登録するようシステムを修正してもらう。
- ・立候補者が定員数以下の場合、白票投票が有効となるよう改定できるかどうか、業者に確認する。

7) 勧告法総集編 2020年版について (三井田 庶務担当理事)

- ・勧告法総集編 2012年版以降に「臨床化学」誌に掲載されたプロジェクト報告などについて、新たに勧告法総集編 2020年版として第60回年次学術集会前に発行する。追加資料として、下記3件を掲載する予定。

- ・甲状腺機能検査の標準化とハーモナイゼーション
- ・IFCC WG FIT 便潜血検査標準化ワーキンググループ活動報告
- ・ALP/LPの測定方法の変更

8) ニュースレターについて (仁井見 編集委員長)

- ・新規の投稿を募集するとともに、オピニオン、受賞者の声、年会準備報告、理事会報告などを定期的にニュースレターに掲載する。その際、広告協賛企業の広告やロゴマークを入れる。

9) その他 (前川 代表理事)

- ・5年前にJCCLSより、JCTLMの各ワーキンググループメンバーを本会から推薦をしてほしいという依頼があり4名を推薦していた。今回候補者の再任について確認の依頼があったため、下記のとおり学会事務局から通知する。

Vitamins : 渭原 博先生から西村 基先生に変更

Drug : 眞野成康先生から城野博史先生に変更

Proteins : 山田俊幸先生継続

- ・酵素については植田成先生あてに任期終了の通知あり。事務局宛に連絡があれば対応する。

4. 審議事項

1) 2019年度決算案 (大久保 会計担当理事)

- ・決算案について下記のとおり説明がなされ承認となった。

<収入>

会費収入：会員増ならびに過年度会費の入金により増収となった。

事業収入：広告やACBは減額となったが、勧告法総集編、認定制度は増収となった。

雑収入：第59回年会からの戻り金、止血血栓専門委員会からの返金があり増収となった。

<支出>

事業費：本誌発行費、認定制度費などは増額となったが、企業シンポジウム費、ACBなどは予算より減額となった。

管理費：消費税増税の影響で一部増額となった。

- ・2019年度の決算としては、約540万円の黒字となった。

- ・繰越金は1,750万程度あるが、基金の1,300万円を含んだ金額であり、正味財産増加分は450万円程度であり、この額が学会活動の運営費となるため、うまく活用していく必要がある。

②監査報告（戸塚 監事）

- ・コロナ禍の関係で書類を2名の監事にお送りし、書面上での監査を実施した。2名の監事より、正当に執行されている旨確認したと報告がなされた。

2) 2021年度予算案（大久保 会計担当理事）

- ・2021年度予算案について下記のとおり説明がなされ承認となった。

<収入>

会費収入：現状の会員数ならびに2019年度の決算額を基準に予算を計上した。

企業会員会費については、2019年度より企業シンポジウム費を会費扱いとすることが決定したため、増額とした。

事業収入：認定制度収入については更新該当者数を基に算出したため減額としている。

<支出>

事業費：認定制度費について増額とした。

管理費：選挙関連費は実施年度ではないため発生せず。登記費用を顧問料報酬に追加した。

3) 評議員推薦について（前川 代表理事）

- ・中国支部支部長の交代により、新支部長となった末廣先生について代表理事推薦があり承認となった。

- ・2021年3月の新旧理事会までに支部ごとに推薦枠を設け、評議員の推薦を依頼する。

4) 学会誌の冊子体（紙媒体）を無くすことについて（仁井見 編集委員長、三浦 会計担当理事）

- ・「臨床化学」誌は現在、冊子の発行のほか、第49巻第2号以降、メディカルオンラインにて会員に向けて電子媒体での提供を開始した。

- ・今後、「臨床化学」誌の冊子体をなくし、印刷費や発送費の削減に努めたらどうかという下記の提案がなされた。

- ・冊子の印刷・発送をなくす。

- ・現行の冊子同様、レイアウトを組み、PDF化する。

- ・広告収入、購読収入（図書館などへの販売、年間約40件）がなくなってしまうため、減収としないよう、検討する必要がある。広告掲載企業に対して、書類にて説明し、今後の掲載方法など（ニュースレター・バナー広告など）について提案するよう準備する。

- ・ニュースレターの発行回数を確保し広告収入を確保する。

- ・冊子が必要という方への対応についても検討する必要がある。有料での配布は可能とのこと。

- ・第50巻第1号からの実施を検討中。

- ・減額となる分を運用資金として使用できるかどうかを確認しながら進めていく。

5. 閉会の辞（前川 代表理事）

- ・代表理事より挨拶があり、理事会は閉会した。

以上

2020年7月17日

議長

前川 真人



議事録確認者

三浦 雅一



議事録確認者

坂本 秀生

